

薩摩川内市農業委員会農業委員候補者応募状況

番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴		公職歴		農業経営の状況		認定農業者 区 分	応募理由
					年月	勤務先等	年月	公職名	作物・家畜等	耕作面積・頭羽数		
1	ニシ ユウイチロウ 西 裕一郎	男	55	農業	H 2 9 . 3 ～	高崎畜産	H 2 9 . 5 ～	北さつま農業協同組合 理事	水稻 W C S、飼料作 繁殖牛	3 0 0 a 5 0 0 a 7 0 頭	○	地域の農地を耕す人が少なくなり、農地の確保と有効利用が困難になってきていると感じている。 そこで、農業委員という立場で農地利用の最適化の推進を進めて、日本の農地を使えるうちに使える人に使ってもらう活動などに取り組みたいと考え応募した。
2	マキタ シンイチ 牧田 信一	男	73	農業	S 4 2 . 3 ～ H 1 5 . 9 H 1 6 . 3 ～	㈱丸井 就農	H 2 3 . 6 ～ H 2 7 . 5 ～ H 2 9 . 7 ～	中山間地域直接支払協 定（轟地域）会計・書 記 椋山水利組合 組合長 薩摩川内市農地利用最 適化推進委員	水稻	2 1 0 a		農地利用最適化推進委員として2期活動してきた。その間、担当地域の全農家をアンケートしながら訪問活動し、現状把握、情報収集を実施、特に無契約で小作されている農地については、農業経営基盤強化促進法利用権設定の締結をお願いし、成果を上げたと思っている。 また、遊休農地の発生防止、農地の集約集積、新規就農者の確保、育成を基軸に努力してきた。 今後、益々推し進めていく必要があると認識している。 訪問活動で実感したことは、高齢化は勿論、後継者不足、新規就農者不足等これからの農業を考えたときに不安、問題点は多く感じている。 実際、現状は団塊世代、その前後の方々の就農者が小規模農業で何とか農地を守ろうと頑張っておられることである。恐らく、あと何年もしないうちに農地を貸したい、売りたい等相談も多くなることが推測できる。 そのようなことから、今までの推進委員の経験、活動、農家の方との繋がりを大切に、今回、農業委員としての立場で職務を遂行し、特に、地域農家の方に寄り添いながら活動、行動したいと考え、農業委員を応募した。
3	トシマ テルヒサ 十島 輝久	男	64	無職	S 5 5 . 6 ～ H 3 0 . 3 H 3 0 . 4 ～ R 3 . 3	薩摩川内市役所 薩摩川内市役所（再任 用職員）	H 3 1 . 4 ～ R 3 . 3	喜入自治会 副会長				現在は農業に従事していないが、今後の農業に興味があり、農業振興に尽力したい。